

とちの実

第86号
 編集・発行
 一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会
 事務局
 〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6
 とちぎ福祉プラザ2F
 TEL：028-624-3789
 FAX：028-624-8631
 [Eメール] tochi-chiiku@ninus.ocn.ne.jp
 [URL] <https://www.tochiteiku.jp/>



いつも栃木県の育成会を応援いただきありがとうございます。とうございます。

今年度の全国大会は、昨年11月7、8日に東京都を会場に盛大に開催されました。式典では、写真にありますように佳子内親王殿下がご臨席され、お言葉を述べられました。内閣府特命担当、法務、文科、厚労の各大臣と東京都の小池知事からもご挨拶をいただきました。記念講演は映画「梅切らぬバカ」の和島香太郎監督と野澤和弘さんとの対話方式で進められました。この映画は、私たち知的・発達障害のある子どもの親が経験したこと、これから経験するであろうことがたくさん盛り込まれていて、泣いたり笑ったりとても素敵な映画です。撮影でのエピソードや和島監督の個人的なお話など野澤さんの絶妙なリードで、ぐいぐい引き込まれてあたたかい気持ちで閉会となりました。

さて栃木県の育成会では県からの委託事業である障害者研修会・相談会を県内4か所（那須烏山・下野・小山・足利）で開催し、石川常務



理事とともに回りました。その他に全体研修会や権利擁護委員会研修会も開催しました。身近な地域で開催すると地元はもちろんのこと近隣の会員の参加も多かったです。また、会員以外に特別支援学校の保護者にも案内を出していますので年々、学校保護者の参加が多くなっています。嬉しかったのは参加した保護者が入会して「手をつなぐ」も購読希望されたことです。

どの市町でも会員の減少、高齢化、役員のなり手不足など課題はありますが、地道に活動を続けていくと若い会員も確実に増えていくと実感しました。

放課後デイなど障害福祉サービスは確実に増えてきていますが、行動障害のある人を卒業後どここの施設も受けてくれないなどの困っている声も聞かれます。地域でのお困りごとがありましたら県育成会へお寄せください。皆さんの力を合わせて、栃木県の障害のある人がもっと笑顔で暮らしていけるようにがんばっていきましょう。

よろしく願っています。

この「とちの実」は、共同募金の一部助成を受けています。

目次	
P1 会長あいさつ 目次	P6 研修会報告等
P2 活動紹介 知的障がい啓発隊カラフルBOX	権利擁護委員会研修会、カルフルとちぎ
P3 ぜんち共済 広告	P7 活動報告 出番ですよ！お父さん事業
P4~P5 地区活動アラカルト	表彰関係、賛助会員、編集後記
足利市、小山市、那須烏山市、茂木町	P8 JIC生活サポート総合補償制度 広告

活動紹介

「カラフルBOXの紹介」

那須塩原市心身障害児者父母の会会長 本澤恵美子

活動を始めたきっかけは、那須塩原市で発達障害当事者が、障害特性による行動を誤解され、男子高校生数人からひどい暴力を受ける事件が起こったこと。

外見からは分かりづらい障害特性を、多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいか？

そんな時、育成会主催の権利擁護セミナーに参加して初めて「ピース&ピース」の公演を体験し、障害を理解することは共生社会の実現につながることを実感しました。

実際に活動をスタートできたのは、2018年。ノウハウは、矢野さんや先輩啓発隊の皆様に伝授いただき、全国で100以上ある啓発隊の一つとして活動をしています。

民生委員、市役所職員、福祉事業所、公民館など、研修などにお声がけいただくことが多いのですが、数年前からは県育成会の出前授業で、警察学校や消防学校へも同行させていただいています。

「知ってほしいな、私たちのこと」誰かが動いていることが大切なんだと思います。

Colorful Box



障害のある方向け総合保険

あ！それうちかも
と思った方

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

障害のある方とそのご家族へ

ぜんちの あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型) 2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知不要
- ・障害者手帳不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの こども傷害保険

権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230(2024年12月作成) Z012-2411R00

ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

0120-322-150

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

平日10時~16時/土日・祝日・年末年始を除く

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」[約款]東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？

障害のある方と
そのご家族をワイドに
お守りする
保険です

加入できます！

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の榎本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もご紹介します。ぜひご覧ください！！

(※) ぜんち共済お客様アンケートより



動画はこちら▶

<https://youtu.be/fEq9QDNV6wM>



手をつなぐ
がん保険
3つの特長

1 代理手続き
代理告知が可能
障害のある方向け
プラン

2 告知対象
疾患の緩和
障害のある方向け
プラン

3 “親なきあと”に
備える補償
障害のある方
ご家族向けプラン

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

Z011-2409R10

関東財務局長(少額短期保険)第14号

ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

[引受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

東京都千代田区三番町 6-4
TEL: 03-3515-4126 / 営業時間: 平日 9時~17時

0120-322-150

平日10時~16時 / 土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>



WEBからも資料請求できます！

資料請求
フォーム



この広告は「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済までお問い合わせください。

足利市育成会の活動

足利市知的障害者育成会会長 尾澤 嘉孝

足利市育成会では毎年7月に行う宿泊訓練、9月に行うスポーツ体験、12月のクリスマス会の行事を開催しています。今年度の宿泊訓練は7月12日・13日の土日に開催、越後湯沢方面で過去に何度か訪れた地域でしたが宿泊はホテル双葉で、初めての利用でした。本人様9名、保護者6名、ボランティア3名、会長の19名と参加者は少なくなっていました。また、毎年楽しみにして単独で参加してくれる方や親子さん、ボランティアさんも顔なじみの方たちで高原の景観を楽しみ、おいしい料理や飲み物、ゆばすき体験と試食、花寺・青龍山吉祥寺の厳かな雰囲気、ブルーベリー狩り、大浴場での入浴、宴会でのカラオケと



事故もなく楽しく過ごすことができました。今回はバス内になりましたが県の研修に参加した会員からの報告を聴き、会長から老後の対策について説明を行いました。土日利用は市のバスが借りられない



人も障害について、当会の活動や財政状況等を理解していただき、毎回満足できる旅行を提供してくれています。各補助金や多くの方の支援があつてのことと感謝申し上げます。

スポーツ・レクリエーション大会

小山市手をつなぐ育成会会長 齋藤 和子

小山市障がい者団体スポーツ大会は、令和元年までは障害者施設の利用者や職員、育成会会員、ボランティアの参加で、一日開催でした。

三年間の中止を経て令和5年からレクリエーションの種目を加え、天候の心配のない小山市立体育館での実施となりました。

おけだま、ドッチビー、ボールリレー、フライングディスク(ディスクスラング)や、全員

参加が原則で、賞品を獲得できる福引競争などがあり、半日だけの日程ですが、皆元気に参加してうれしい限りです。

以前は、迫力満点のリレーや50メートル走、皆で輪になって踊った小山音頭などがあつたことを思うと物足りないかもしれません。新しい種目やアイデアを取り入れたらとも考えます。

市職員、施設職員、育成会会員、保護者の理解と協力のもと、体力の向上を図り機能回復に少しでも貢献できれば幸いです。

そして何といても久しぶりに会える仲間たちの笑顔に癒されます。

皆で楽しく親睦を深め、交流できる貴重な機会なので、これからも続けていけることを望んでいます。



地区活動

レクリエーションと今後の課題
那須烏山市心身障がい者父母の会会長 黒崎みさえ

毎年、会員の皆さんが楽しみにしている日帰り研修会を6月に実施しました。

今回は、足利のココ・ファーム・ワイナリーと太平山方面でした。最初の目的地に到着すると、目の前に空を見上げるような急斜面のぶどう畑が私たちを迎えてくれました。見学の前にスタッフの方から、このぶどう畑は開墾から68年を迎え、こころみ学園の園生たちは斜度が38度という急斜面で草刈りや剪定等の手入れ、収穫を行い、毎日ぶどう畑と醸造所でおいしいワインを作るために頑張っていますと伺いました。その後、ワイナリーを見学させていただきました。ぶどう棚の下でジュースのテイステイング（ワインでないのが残念との声も…）、カフェに移動して人気メニューの「デッキランチ」をいただきお腹も満たされ、次の目的地の太平山あじさい坂へと向かいました。

また、10月にはスポーツ教室を行いました。今回は卓球バ



アラカルト

レーとアキュラシーです。育成会の活動を知ってもらうために会員以外の作業所の人たちにも参加してもらっています。これからは、会の単独での活動がだんだん難しくなってきたので、那珂川町の会にもお声を掛けて何名かの参加がありました。いつもと違うメンバーが加わることで楽しい活動になりました。

会員の高齢化、会員減少等課題も多いですが、皆さんが楽しみにしている行事や活動を続けられるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。

コロナをきっかけに

茂木町手をつなぐ親の会会長 萩原 義秀

コロナ真っ只中に「子どもたちはコロナの影響等もあり社会と触れ合う機会が減ってしまったとの実感があり、近場でもいいから社会と触れ合う機会を持つことが必要ではないか」という保護者の想いから始まった保護者主催の「たんぼの集い」。令和5年度の4月より始まり、今年で3年目になりました。毎年、春と秋に年2回実施しています。今年度は4月の桜が満開の時期に茂木町の桜の名所をハ



イキングし、10月には町内にある「モビリティリゾートもてぎ」でレース観戦及びレクリエーションを行いました。

特に秋のたんぼの集いでは、Hondaの車が展示してあるコレクションホールをガイド付きで観覧し、ガイドさんの説明を参加者全員で聞きましたが、ただ見るだけではわからない歴史や想い、知識を深めることができました。また、昼食やレクリエーションも会員家族だけでなく、たんぼの集いを手伝ってくれるボランティアさんやグループホームの職員さんたちとも楽しい時間を過ごせただけでなく、普段の様子、情報交換なども行い、有意義な時間を過ごすことができました。

高齢化が進んできた私たちが会員や子どもたち。長距離移動や宿泊などは体力的にも難しくなっています。近場の町内でも楽しく過ごしながら、今後もみんなで考え継続していきたいと思っています。



研修会報告等

権利擁護委員会研修会 「事例から学ぶ親なき後の課題」

県育成会事務局

去る1月20日(火)とちぎ福祉プラザにおいて「事例から学ぶ親なき後の課題」と題して栃木県社会福祉士会副会長の松本裕行先生をお招きしてご講演をいただきました。当日は、各地区の会員をはじめ賛助会員、施設職員、特別支援学校の保護者の方約30名の参加がありました。

講演では、権利擁護に係る成年後見制度の現状や課題、今後の成年後見制度、意思決定支援や身上保護の重視など、また、親なき後に生じる課題として財産の



管理や契約行為のこ
となど豊富な経験に
基づく具体的な事例
を通して分かりやす
くお話しいただきま
した。
また、意見交換で
は、今抱えている親
なき後の具体的な問



題について質問者ひとりひとり丁寧に丁寧にお答えいただき、成年後見制度や親なき後の準備などについて理解を深める機会となりました。

最後に、今回の研修会も含めてですが特別支援学校の保護

者の方の参加が少しずつ増えてきています。今後も特別支援学校や特別支援学級の保護者の方への情報提供の機会を進めてまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第28回栃木県障害者文化祭 「カルフルとちぎ2025」の開催

県育成会事務局

障害者の自立と文化活動への参加促進及び障害者の福祉に関する理解の深化を目的に今年度も、11月1日(土)とちぎ福祉プラザ・わかくさアリーナにおいてカルフルとちぎが開催されました。

会場では、絵画や書道などの作品展示や合唱等の芸能発表、手工芸品やクッキーなどの製作



品販売と屋外での模擬店、それと障害者スポーツなどの体験コーナーやスタンプラリーなどが設置され、昨年よりも多くの方々が来場され各コーナーにおいて賑わいを見せていました。県育成会でも製作品販売に参加して、宇都宮市知の障害者育成会と下野市中心障害児者父母の会のご協力を得て、お茶やクロス、書籍を販売しました。来年度は、さらに多くの方々と触れ合える機会ができることを期待しています。

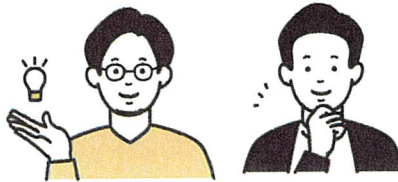


活動報告

「出番ですよーお父さん事業」

お父さんの想いや意見を伺いながら相互の親睦を図ることを目的に、今年度も2月7日(土)15時から宇都宮のホテルニューイタヤにおいてお父さん事業を開催しました。

参加者は5地区から8名のお父さんと事務局から小島会長ほか1名の合計10名で、意見交換を含め相互の親睦を図ることができました。この事業は次年度も継続して実施する予定ですので、より多くのお父さん方のご参加をお待ちしています。



表彰関係

(県育成会推薦分・敬称略)

栃木県民福祉のつどい並びに全国手をつなぐ育成会連合会において、これまでの活動実績が顕著な方々に表彰状等が贈られました。

受賞された皆様、誠におめでとうございませう。今後も益々のご活躍を祈念申し上げますとともに、育成会活動へのご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

☆栃木県民福祉のつどい関係

栃木県心身障害児者親の会連合会会長表彰
福田 はるみ(宇都宮市)

栃木県心身障害児者親の会連合会会長感謝状

特定非営利活動法人

とちぎ障害者労働自立センターゆめ

(宇都宮市)

☆全国手をつなぐ育成会連合会

会長表彰

鈴木 勇 二(宇都宮市)

県育成会賛助会員

賛助会員の皆様には日頃より県育成会の諸活動に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今後とも会員、ご家族が安全に安心して社会生活を過ごせるよう活動の充実に努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《個人》※敬称略

- | | |
|-------------------|-------|
| 日向野義幸 | 大村 美保 |
| 大門 亘 | 佐藤 直久 |
| 井上 成史 | 井上 玉枝 |
| 服部 祐未 | 渡辺 幸子 |
| 沼子 広美 | 島田 泰利 |
| 小牧 敦子(みぶ親の会スのまんま) | |
| 大谷 弥生 | 海發美智子 |
| 磯 紀子 | 古口 昌司 |

- | | |
|-------|-------|
| 三田 桂子 | 前原 隆司 |
| 古口 真大 | 植木 祐子 |
| 古口 諭 | 瀧澤 正貴 |
| 今村 英樹 | 嵯峨摩理子 |
| 高津戸英男 | 河村 文夫 |
| 高山 正浩 | |
| 匿名三名 | |

《団体・企業・事業者等》

- 島手そうめん販売株式会社
- 大越観光バス株式会社
- 社会福祉法人恵友会
- 株式会社MKS総合企画
- ユーマーコーポレーション株式会社
- 増山興業株式会社
- URM株式会社
- 木村クリニック
- 株式会社フレンド
- 社会福祉法人すぎのこ会
- ふるかわ医院
- 株式会社ビッグアイランド
- いざわ接骨院
- 匿名一社

編集後記

オリンピックが続いてWBCとスポーツが盛り上がっています。ニュースや特集番組で放送されていて、求めなくても目や耳に入ってきます。ですが、パラリンピックは意識して知ろうとしなければ、何も情報が入ってきません。もっともっと認知度を上げていかなければ、と考えさせられます。

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金 ※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

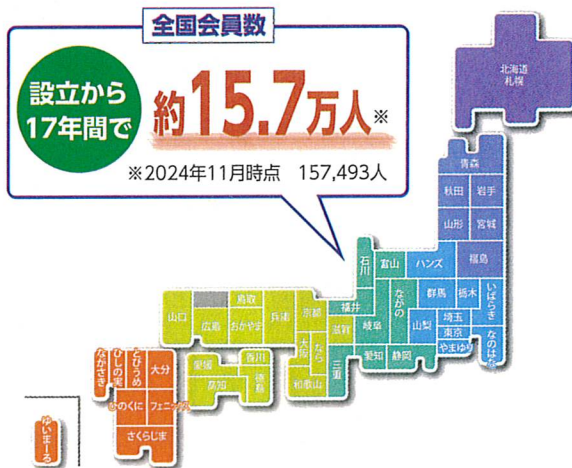
●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や発達障がい児者(自閉症児者を含む)への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.7万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL: 03-5401-3660
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

栃木県知的障害児者生活サポート協会
〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6
とちぎ福祉プラザ2階
TEL: 028-612-1901 FAX: 028-612-1902
受付時間: 午前9時半～午後4時(土・日・祝日・年末年始を除く)